

バリアフリームーブメント

“いざ”じゃないとき知る知識！
“いざ”というとき引き出す知識！

バリアフリーな社会を生きるため、
必要なことを先取りしよう！

「合図くん05」 を取るための製品

既存の製品をより多くの人が使いやすいようにしてあげるモノ、今まで使いにくかったものを使いやすくするためのモノ等、これからどんどん増えてくるバリアフリー化された製品や商品を紹介しているこのコーナー。
今回は「耳の不自由な人に役立つ製品」を紹介する。
(森川 美和)



■「合図くん05」
使用周波数：429MHz帯 通信方式：特定小電力による双方向指向
電源：単4電池、各1ヶ 寸法：振動受信器 縦80×横44×幅14(ミリ)
価格：1セット 34,650円(税込み)

本年15周年目を迎える(株)ワールドバイオニアは、平成3年に設立され、以降、耳の不自由な人の生活に役立つ商品を企画・開発・制作・販売し続けてきた。
この間、これまで多くの人々が利用してきた振動呼出器「合図くん」シリーズも改良を重ね、先の10月30日に「合図くん05」(写真A)を発売した。
これまでの無線呼出器のほとんどは、片方からの呼び出しのみだったため、送信はできるが、相手が受信したかどうかの確認が取れなかった。

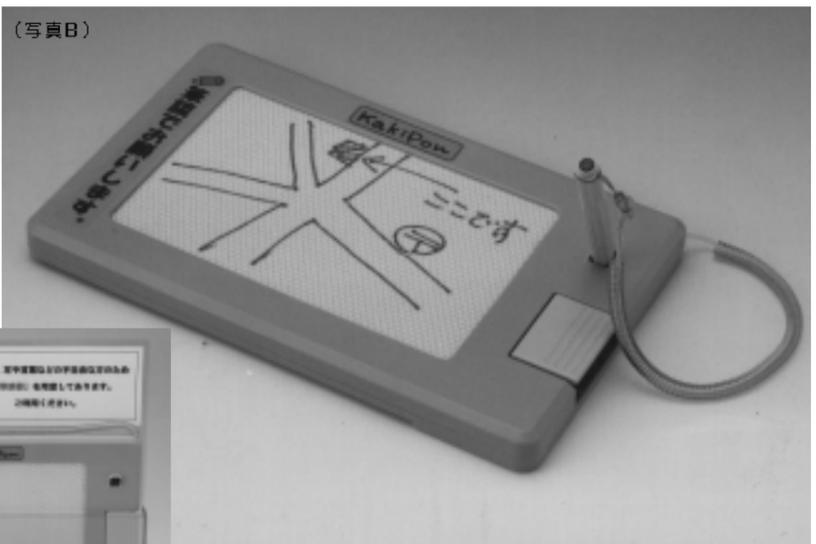
しかし「合図くん05」は双方向での送受信を可能にして相手の信号を受け取った合図として手持ちの本体の送信ボタンを押せば、相手にも振動(通信)が伝わり、お互いが送受信の確認が取れる。
耳の不自由な人は、病院、銀行、役所、調剤薬局、郵便局、ホテルなどで、自分の名前を呼ばれても聞こえない。そのため、後回しにされることもあるのだ。
使用状況にもよるが、見通し約100メートルの範囲で利用が可能なので、耳の不自由な人に事前に本器を手渡ししておけば、順番になった時にボタンを一度押すだけで、呼び出しがスムーズにできる。(ぎやかな場所)例えばセルフサービスのファーストフード店や、工場、印刷所、コンビニエンスストアなどで呼び出しは、耳の聞こえる人達にとっても聞き取りにくい。

海外旅行中に耳の不自由な人などが、鍵を閉めたホテルの部屋で、急な予定変更を受けるときや、火災の発生などを伝える時にも、とても役に立つ。
耳の不自由な人達のために作られたものでも、状況によっては、聞こえる人達にとっても便利なものがある。
「合図くん05」は、使用者のアイコンマークで、より多くの人にとってのサポート機器になりそうだ。

「合図くん05」は、 公共施設や町のお店などに設置 「簡易筆談器」「かきポンくん」

交通機関(空港、鉄道等)、デパート、携帯電話ショップやホテル、銀行、役所などで「簡易筆談器」「かきポンくん」(写真B)を使っているところが増えている。
これは、お客様と窓口の人の会話を円滑にするための製品の1つである。
手話ができないけれど、耳の不自由な人と「ミニコミュニケーション」をしたい人や、喋りたいけど話そうことができないという人や、街頭摘出音によって「かきポンくん」があれば会話を

操作が簡単な、A4サイズのバッグにも収まる大きさなので、持ち運びもできる。
中国などは、会社を立ち上げた当初に比べれば、耳の不自由な人に対する理解は向上している。しかし、災害や緊急の放送は、残念ながら音声での情報が多い。本当に困った状況が起こった時、耳の不自由な人達が困らないようにするために、今後多くの人に「理解をいただきたい」と思えることを考えていきたい。



(写真B)



「手話」
そう思われる方も多いので、ないで済ませるか。
もちろん「手話」も大事な「コミュニケーション」方法の一つであるが、全ての耳の不自由な人が手話を使えるわけではない。
高齢になり耳が聞こえにくくなったり、予想もできない急な耳が聞こえなくなった人などが、すぐに手話を覚えることは簡単なことではない。たとえ、その人達が手話を使えたとしても、聞こえる私たちが、全く手話を知らなければ、せっかくの「ミニコミュニケーション」方法であっても会話は成立しない。
また、昨今、予想もできない自然災害が各地で発生している。
災害が発生した時には、必ずさまざまな人との「ミニコミュニケーション」が必要になる。そこで今回は手話を知らなくても、私たちが日常生活での会話の時や、急な状況にも利用することができる製品をご紹介したいと思います。

■簡易筆談器「かきポンくん」
カラー：ブルー、ピンク
価格：2,835円(税込み)

【商品のお問い合わせ】
株式会社ワールドバイオニア
〒164-0001
東京都中野区中野3-33-3-5F
電話03-3229-2282(代表)
FAX03-3229-2277
メール：wp@wp1.co.jp
URL：http://www.wp1.co.jp